

北アルプス



No.49

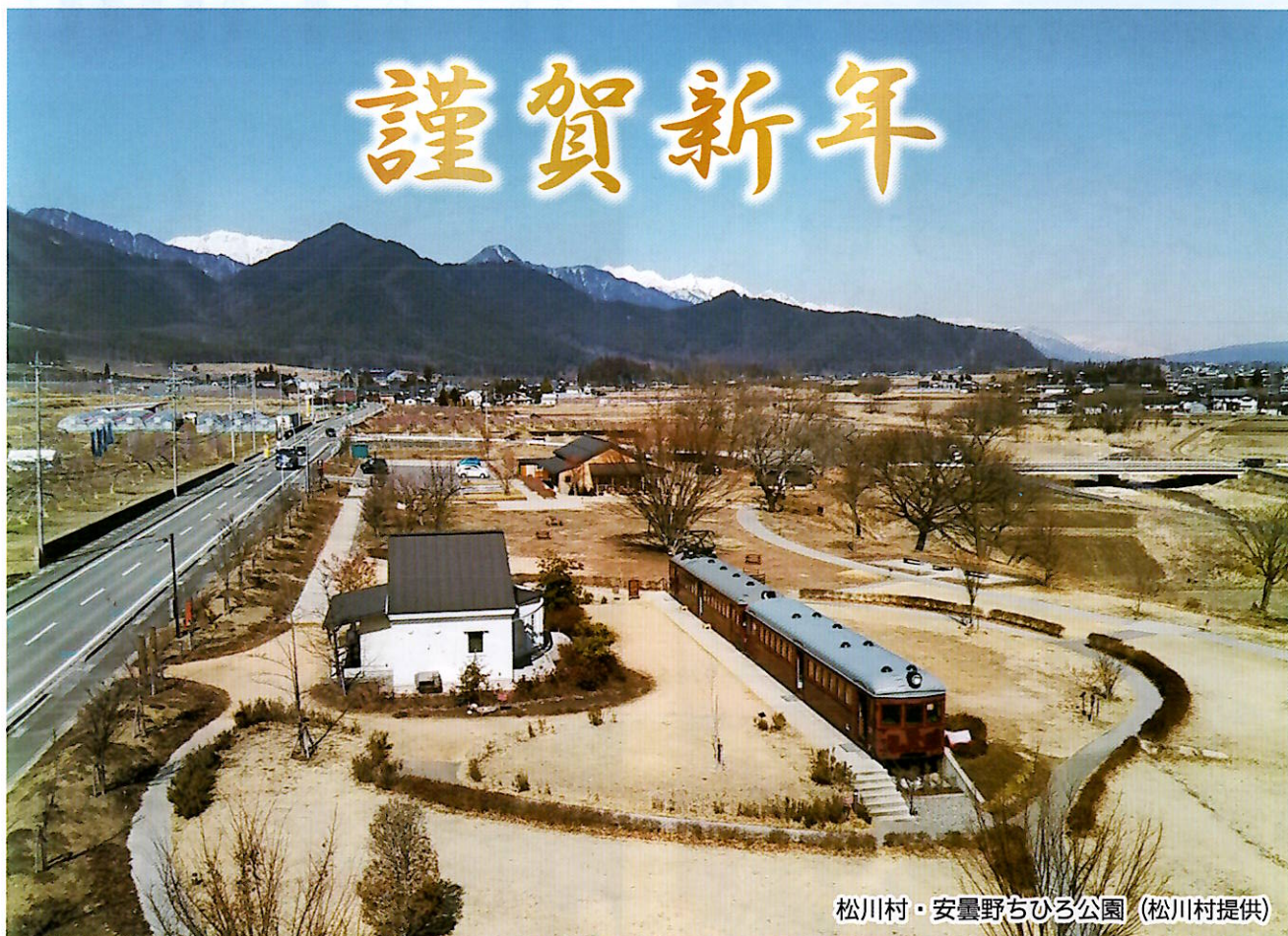
令和6年1月1日 発行

公益社団法人
北アルプス広域
シルバー人材センター

大町市大町4113番地
TEL22-2445 FAX23-5033
<https://webc.sjc.ne.jp/kita-alps/>

シルバーだより

謹賀新年



松川村・安曇野ちひろ公園 (松川村提供)

理事長 川本 嘉瑞義



新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、年頭に当たり構成市町村長を始め地域の皆様の多大なるご支援と会員・役職員の日々の就業努力に心から感謝とお礼を申し上げます。

3年に亘り猛威をふるった新型コロナウイルスは感染症法の5類に移行し以前よりは落ち着いております。未だ予断を許しませんが当面は感染予防に努めながらの生活が続きます。

政府には、社会経済活動の正常化に向けた新型コロナウイルス対策・社会経済再生を全力で推進し、地方に住み良い環境の確保と地域の活性化に資する施策に期待するところであります。現役世代の減少・高齢化に伴い、高齢者の活躍が期待される中、中期的展望に立ったシルバー人材センターの役割を再認識し、会員の高齢化や会員数の減少等の喫緊の課題に具体的な取組みを進め、就業分野の拡大と就業機会を確保することが重要であります。

関係機関並びに会員各位の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

社会奉仕活動・地区懇談会実施

シルバー啓発月間に合わせて175人参加

毎年10月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間です。地域貢献の思いを込めて、全地区で公共施設等での草取り、剪定、清掃などの奉仕活動を行いました。引き続き懇談会を開催し、センターの課題・要望等の意見交換を行いました。年々参加者が減っています。奉仕活動には積極的に参加いただきますようお願いいたします。



大町地区 10月12日 大町市運動公園 49名参加



池田地区 10月5日
やすらぎの郷・多目的研修センター 34名参加



松川地区 9月25日 ゆうあい館 松香荘 45名参加



小谷地区 10月5日 小谷村福祉センター 6名参加



白馬地区 10月20日 グリーンスポーツの森 15名参加



八坂地区 10月18日 明日香荘 11名参加



美麻地区 10月13日 新行丸山公園 15名参加

令和5年度事業実績（4月～10月）

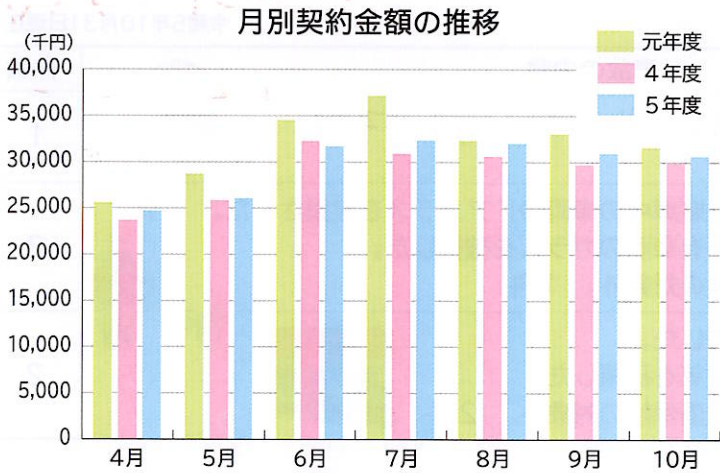
10月末の事業実績は、2億843万円
で前年同期と比較して約536万円、
2.6%の増とわずかながら上回っています。
公共からの収入が6.7%、一般家庭からの収入が2.6%、合わせて588万円増加しています。

新型コロナウイルスの影響がなかった令和元年度との比較では、1450万円、6.5%下回っており未だ回復

の兆しは見えませんが、

また、10月末の会員数は534名、4月～10月の入会者は39名、退会者は76名でした。

会員数が減少しています。お知らせを入会説明会にお誘いください。入会しますと紹介会員には記念品を贈呈します。引き続き「一人一会員入会運動」へのご協力をお願いいたします。



契約金額の推移（月別） (単位：千円)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
元年度	25.607	28.710	34.521	37.147	32.320	33.034	31.588
4年度	23.679	25.881	32.263	30.920	30.633	29.737	29.958
5年度	24.688	26.091	31.708	32.343	32.001	30.948	30.654
前年比	104.3%	100.8%	98.3%	104.6%	104.5%	104.1%	102.3%

契約金額の推移（累計） (単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
元年度	25.607	54.318	88.840	125.988	158.308	191.343	222.931
4年度	23.679	49.560	81.823	112.743	143.376	173.113	203.071
5年度	24.688	50.779	82.487	114.830	146.831	177.779	208.433
前年比	104.3%	102.5%	100.8%	101.9%	102.4%	102.7%	102.6%

健康長寿は社会貢献

県シルバー人材センター連合会
「ブロック別役員研修会」

県連合主催、中信地区5シルバーの理事・監事の研修会が、9月14日、大町商工会館会議室において開催され56名が参加しました。

県連合酒井登会長、当センター川本理事長のあいさつ、県連合宮下事務局長のシルバー事業の情勢説明の後、講演会に移りました。

講師の大町市創業支援協議会生涯現役環境づくり部会・事業推進員桂山茂氏から「統計情報から学ぶ生涯現役のすすめ」と題し、部会が行ったアンケート結果と高齢者のデータを基に、長寿社会における生涯現役の重要性を軽妙な語り口で講演いただきました。



大町市 市民ふれあい広場

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間中の10月7日（土）大町市文化会館周辺で開催された市民ふれあい広場に7名が参加しました。

大町地区健康野菜クラブの皆さんが育てたネギとじゃがいもを、訪れた市民に元気な掛け声とともに販売する傍らで、地区の理事と職員が、チラシとティッシュペーパーを手渡ししながら、シルバー人材センターの宣伝と新入会員の募集、お仕事の依頼の受付を行いました。



令和5年度 事故発生状況

令和5年10月31日現在

事故の種類	事故の内容	件数
傷害事故	草刈り作業において、現場確認が不足しており、側溝に気づかず足を踏み外しふくらはぎを打撲	1
賠償事故	● 草刈り作業中、飛び石により駐車中の車両のドアガラスを破損させた。 1件 ● 飛び石による事故で、会員所有車両のガラスを破損した。会員所有車両のため賠償保険の対象外。 1件	2
車両事故	交通事故の発生はありませんでした。 ● 会員所有車両で発注者の門柱等を破損した。会員所有の車両事故のため賠償保険の対象外。 2件	2



中山さん



松沢さん



飯沢さん

最優秀賞 松沢 孔久（白馬）
*あわてず 焦らず
安全作業はゆとりから

優秀賞 中山 登志男（池田）
*もう少し、
もうちょっとが事故のもと

優秀賞 飯沢 要（美麻）
*慣れた作業ももう一度
安全点検から

本年度も会員の皆さんに標語の募集をしたところ、23名の方から44作品の応募をいただきました。
安全就業委員会の審査の結果、次の作品が入選されました。
入賞者には、理事長から賞状と記念品をお渡しし表彰しました。



長野県シルバー人材センター連合会
安全・適正就業推進大会

11月17日、県連合の安全・適正就業推進大会が塩尻市で開催され、安全適正委員等が参加しました。
最初に安全・適正就業標語の表彰が行われ、最優秀賞の塩尻地域SC小島今朝男さん以下、優秀賞1点、佳作3点が表彰されました。
○最優秀賞作品
危険予知 意識高めて防ぐ事故
県連合の内田安全・適正就業指導員の安全就業研修に続き、松本大学副学長根本賢一氏による「健康講座元気な体作りのために」と題した講演がありました。
高齢者には、日常生活の中で無理のない範囲で活動量を増やすなど筋力維持が必要だそうです。歩幅を広く取るウォーキングやスクワットのの方法など、実際に体を動かしながらの講演会でした。



長野県シルバー人材センター連合会
安全・適正就業パトロール

安全適正就業強化月間として県連合の安全パトロールが7月31日に実施されました。
県連合西山安全推進員、竹内指導員、当センター茅野安全・適正就業委員長、安全推進員等が、大町市霊園の草刈り作業現場を訪れ、点検表に基づき、作業前のミーティングの実施や作業中の安全対策の状況を確認しました。
猛暑の中、保護具の着用はありましたが、ヘルメット未着用と作業服の安全対策について指摘がありました。暑さ対策は必要ですが、自身を守るといふ安全意識を持つようとの講評がありました。

会員親睦旅行記

大町地区 鈴木 澄雄



コロナ禍以来4年ぶりの互助会親睦旅行が、木曾・伊那谷を目指して10月24・25日に1泊2日で53名の参加により行われました。

1日目、期待に満ちたバス内はガイドさんとの掛け合いで賑やかなうちに妻籠宿に到着。妻籠、馬籠宿は江戸時代の名残を今に伝え、皇女和宮一行3万人も、この急な坂道を通ったことに驚きの声も。

次の「天竜峡大橋そらさんぽ」では、遙か眼下の天竜川に架かる鉄橋を列車がコトコト。ジオラマ風景そのものの風景でした。

夕刻早めに昼神温泉随一の宿「グランドホテル天心」に到着。美人の湯と称されるアルカリ性温泉にたっぷりつかり一日の疲れも吹っ飛び、一同は美男美女に大変身？いざ、宴会へ。

平林会長のあいさつ、中嶋副理事

長の乾杯で始まり、会場では会員同士が旧交を温めるシーンが随所に見られ、これぞ互助会の原動力の源かと。



明けて2日目は、飯田市の国登録有形文化財、昭和中期の木造校舎を保存する「杵原学校」の体験入学からスタート。懐かしい木造校舎、木の机の教室での歴史と音楽の授業は、先生役のボランティアさんの話術で笑いの渦の中、オルガンに合わせ大合唱。小学生の昔を思い出すひと時でした。

宝積山光前寺、国指定名勝・池泉鑑賞式庭園、諏訪大社上社本宮を参拝後、原田泰治美術館へ。飯山市の人形作家高橋まゆみ作品展も併催され、作家2人のほのぼのとした温もりに包まれ無事帰路につきましました。企画準備に尽力の事務局の方々、参加会員皆様、お疲れ様でした。平林会長の言葉「シルバー活動と互助会活動は両輪」をさらに大きくすべく健康で頑張りましょう。

旅の思い出



カラオケ大会
参加者 (一部)



新年の抱負

辰年生まれ

笑顔がうれしい



美麻地区 高橋 久美子

我家の菩提寺からいただいた「曜日めぐり」にこんな言葉がありました。「どんな小さなことでもいい、人がよろこぶことをしよう。大勢の人のよろこぶ笑顔は私をしかわせにしてくれる。」

ずっと以前にいただいたものが、その当時はさほど心にとめずいました。最近になり、子供も巣立って家を離れたこともあり、自分づくりのこのことば集を、週に1回は声に出して唱えます。このことばを心にとめて、日々を過ごすようにしています。

6回目を迎える年女ですが、シルバー人材センター会員としては1年生です。美麻大塩市民農園管理棟で6月から仕事をしています。お仕事をいただけることに感謝し、お仲間の皆様にも早く追い付けるよう願うところです。

これからも、大勢の方の笑顔にお会いできるよう、人と人との交流を大切にしたいと思っています。

シルバー人材センターの契約形態が変わります

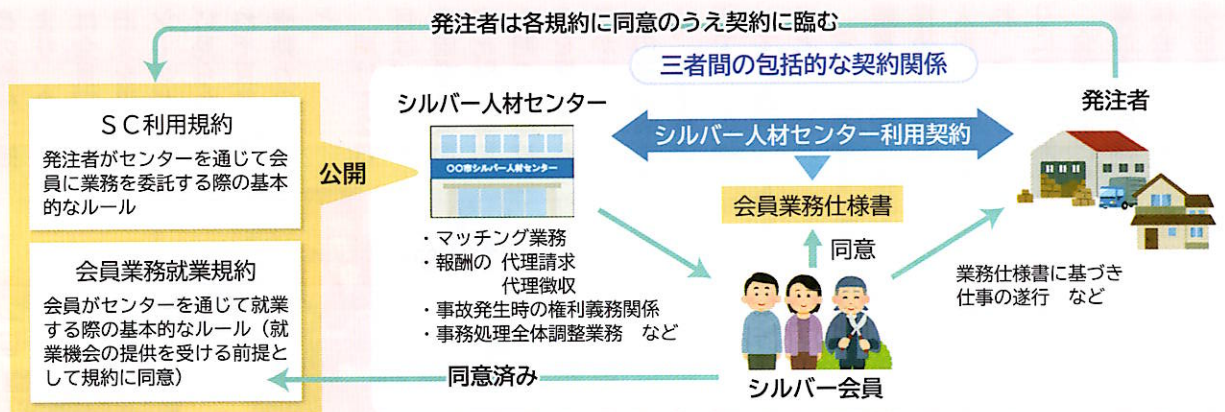
略称フリーランス新法が令和5年5月に公布され、令和6年秋にも施行される見込みです。シルバー人材センターがこの法律に対応するためには、契約形態の見直しが必要となりました。

見直し後も変わらないこと

- ・今までどおり、センターが発注者から仕事の依頼を受け、会員に依頼します。
- ・発注者から会員に直接連絡がいくことはありません。
- ・配分金についても、発注者への請求はセンターが行い、会員にはセンターからお支払いします。

見直し後に変わる点

- ・発注者、センター、会員の三者間での契約となります。これは、会員がセンターから送られる「会員業務仕様書」に同意（署名不要）することで成立します。
- ・「会員業務仕様書」を各会員に郵送でお送りすることによる事務量の増大に対応するため、シルバー人材センター専用アプリ(会員専用サイト)が開発されました。これは、スマートフォンまたはパソコンから会員専用サイトに会員がアクセスして使用します。
- ・今後、会員の皆さんにこの会員専用サイトの使い方を知っていただくため、講習会や研修会を開催します。



【新たな契約形態のポイント】

- ・すべての契約において不変の事項は「規約」としてまとめて約款の扱いとする。
- ・三者間の包括的契約関係を成立させるために、原則、書面または電磁的方法による就業条件の明示及び会員の同意は必須だが、会員による署名までは必要としない。
- ・発注者が個人家庭の場合は、利用契約の締結及び会員への就業条件明示は口頭でも差し支えない。（法的な問題は無い）

会員募集中

大北地域に居住する60歳以上の健康で働く意欲のある方。

入会説明会に出席し、シルバー事業の趣旨を理解のうえ、入会するか判断していただきます。

入会説明会は、毎月第3木曜日、午後1時30分から大町事務所で開催していますので、お気軽にご出席ください。

各地区の事務所の電話番号は、次のとおりです。

* 大町事務所	2 2 1 2 4 4 5
* 池田事務所	6 2 1 8 0 4 5
* 松川事務所	6 1 1 1 4 0 1
* 白馬事務所	7 2 1 8 2 2 0
* 小谷事務所	8 2 1 2 4 3 0

配分金及び派遣給与の支払日

12月分	1月15日（月）
1月分	2月15日（木）
2月分	3月15日（金）
3月分	4月15日（月）
4月分	5月15日（水）
5月分	6月14日（金）
6月分	7月12日（金）
7月分	8月15日（木）

配分金の確定申告

確定申告の時期となりました。令和5年分「配分金支払証明書」（令和4年12月分から令和5年11月分の配分金）を1月中に会員の皆様に送付します。

配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。

また、派遣会員の方には「源泉徴収票」をお送りします。所得税を徴収してありますので、確定申告をしてください。

編集後記

令和2年から始まった新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、日常生活はコロナ禍前に戻りつつあります。シルバー人材センターの行事も再開され、活気が感じられるようになりました。

しかし、今年インフルエンザの流行が早く、10月上旬には注意報レベルまで増加し始め、11月には全県にインフルエンザ警報が発表されました。会員の皆様には健康管理に十分留意され元気で活躍されるようお願いいたします。

今号を持ちまして、広報委員の任期が終わります。寄稿にご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。（遠藤 記）